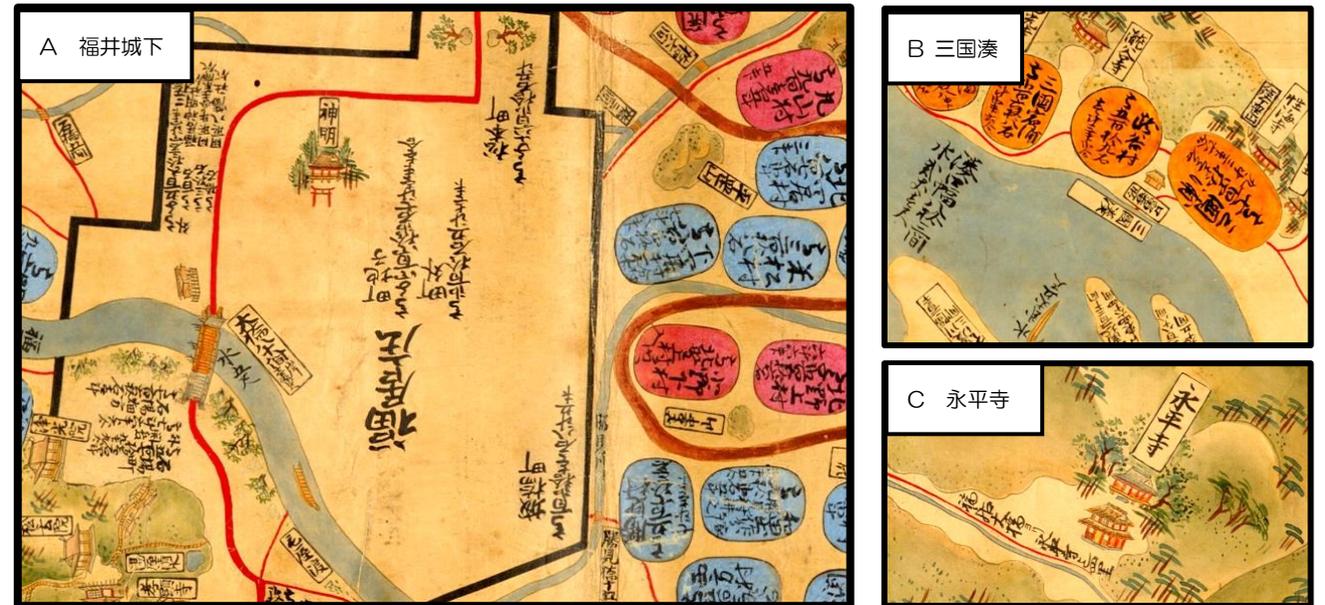


越前の国絵図



1685年（貞享2）「越前国之図」
松平文庫（当館保管）[デジタルアーカイブへ](#)

デジタルアーカイブ福井では、より高精細な画像を拡大して見ることができます。



解説・福井とのかかわり

江戸幕府が諸大名に命じて作らせた旧国ごとの絵図を「国絵図」と呼びます。全国規模で国絵図が作成されたのは慶長、正保、元禄、天保期の4回ですが、本資料が作成された1685年（貞享2）は、越前国だけが国絵図の作成を命じられました。翌年に福井藩の領知高が半減されるいわゆる「貞享の半知」が実施されることから、おそらく幕府は半知後の新藩配置のために本絵図の正図を献上させたとされています。

福井藩は、この国絵図の作成にあたり、国内各地から資料を提出させており、それらをまとめたものが松平文庫に残されています（次ページの「関連資料、展示等」を参照）。

資料の注目ポイント

村々を示す色は郡域のちがいを表しており、例えば足羽郡は青色、吉田郡はピンク色、坂井郡は黄色で示されています（拡大図A、B）。また、村の形は藩領のちがいを表しており、福井藩領は楕円形、丸岡藩領は円形で示されています（拡大図B）。

海、川、山・森・池などの情報が豊富で色彩豊かに描かれており、全国一斉に作成された国絵図とは違った趣があります。拡大図Cの永平寺のように、越前国内の著名な寺社や城跡なども詳細に描いており、まるで絵図上で名所めぐりをしているような思いにとらわれます。

関連資料、展示等

名称	概要	備考
「越前国之図」	松平文庫（当館保管） 資料番号 A0143-21182	デジタルアーカイブ福井で閲覧可能。 https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-1002387-1-p1
「越前地理指南」 「越前地理梗概」 「越前地理便覧」	福井藩が「越前国之図」の作成にあたり国内各地から提出させた調査書をまとめたもの。 3点とも松平文庫（当館保管）。 資料番号 A0143-21206～20208	デジタルアーカイブ福井で閲覧可能。 「越前地理指南」 https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-1001846-1-p1 「越前地理梗概」 https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-1001847-1-p1 「越前地理便覧」 https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-1001848-1-p1
福井県文書館企画展示 「あらためまして松平文庫展」	「越前国之図」の複製タペストリーを展示。 2019年10月25日（金）～12月18日（水）	当館 WEB で公開中。 https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/fukui/08/2019exhb/2019exhb/2019exhb.html タペストリーは現在も福井県立図書館エントランスホールで展示中（2022年10月30日時点）。

参考文献等

- ・『福井県史 通史編 3』（1994年、福井県）
- ・『福井市史 資料編別巻 絵図・地図』（1989年、福井市）
- ・『松平文庫目録』（1968年、福井県立図書館）
- ・「福井県立図書館デジタルライブラリー」 <https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/tosyo/category/shirukityou/384.html> （2022年10月30日閲覧）